

令和2年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」
事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 茨城県 】

学校名【 守谷市立御所ヶ丘小学校 】

1 実践テーマ	I・III・V
2 実施対象者 (学年・人数)	1 運動会に向けた清原先生との集団行動練習会 ・第5学年 57名、第6学年 59名 2 パラリンピアン山口選手から学ぶ会 ・第6学年 59名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (体育科、道徳) ② 行事名 (「運動会に向けた清原先生との集団行動練習会」、 「パラリンピアン山口選手から学ぶ会」) ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	○ 日本代表パラアスリートによる講演を通して、パラリンピックの意義や歴史を理解することができる。(テーマI) ○ 日本代表パラアスリートの体験談を聞いたり、ゴールボールを体験したりする活動を通して、共生社会への意識を高める。(テーマIII) ○ 集団行動の練習をしたりゴールボールを体験したりする活動を通して、スポーツに対する興味・関心を高めるとともにスポーツを楽しむ心を育む。(テーマV)
5 取組内容	(1) 「運動会に向けた清原先生との集団行動練習会」 ① 実施日 令和2年9月25日、10月2日 ② 講師 日本体育大学名誉教授・清原伸彦先生 ③ 内容 集団行動の練習、行進にオリンピックマーチを使用  (2) 「パラリンピアン山口選手から学ぶ会」 ① 実施日 令和2年12月10日 ② 講師 ゴールボール日本代表 山口凌河選手 ③ 内容 講話「これまでの経験から御所小のみんなに伝えたいこと」、ゴールボールの動画視聴、ゴールボール体験

	 <p>④ 事後指導 各学級において、感想発表を行った。</p>
<p>6 主な成果</p>	<p>(1)「運動会に向けた清原先生との集団行動練習会」から ○スポーツに対する興味・関心を高めるとともに、スポーツを楽しむ心が育まれた。 また、集団行動の練習を通して、心を一つにすることの大切さを学んだ。 【児童の感想から】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何度も何度も練習を重ねたことで、列が揃ってきて喜びが自信につながったと思う。集団行動を通して、心を一つにすることの大切さを学んだ。 ・暑いときや雨が降ったときにも、大変な思いをしながらもみんなで力を合わせて練習に取り組んだ。集団行動を通して、心が成長した。 <p>(2)「パラリンピアン山口選手から学ぶ会」から ○パラリンピックの意義を理解したり共生社会への意識を高めたりすることができた。また、山口選手から、粘り強く生きることの大切さを学んだ。 【児童の感想から】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「失敗の数を数えるのではなく、今ある力を最大限に使う。」という山口選手の言葉から、失敗を引きずるのではなく、これからも新しいことにチャレンジすることが大切だと思った。 ・障害がある人は、失うものが多く、前向きな人は少ないのではないかなと思っていた。しかし、山口選手の話聞いて、障害があってもいきいきとしている姿に感動した。 ・ボールを強い力で投げようと思っても、ボールが重く、中々強く投げられず難しかった。ゴールボールを体験して、ゴールボールに興味をもった。 ・山口選手は目が見えていないのに、ボールの鈴の音だけを頼りにシュートを止めていてすごいなと思った。パラリンピックでも頑張るって欲しい。
<p>7 実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<p>○事前に、ゴールボールについての動画を視聴することで、ゴールボールや山口選手への関心が高まるようにした。 ○ゴールボールを実体験する機会を作ることで、ゴールボールの面白さや難しさを実感できるようにした。 ○実際に山口選手が使用しているボールやゴーグル、今まで獲得してきたメダルを体育館に掲示したことで、視覚的に児童のオリンピック・パラリンピックについての興味や関心を高められるようにした。</p>
<p>8 主な課題等</p>	<p>○全児童にゴールボールを体験させることを意識していたため、6年生のみの体験会になってしまった。ゴールボールなどの道具を借りて体験したり、休み時間の異学年交流でパラリンピックスポーツを運動したりすると、全学年にとって充実した活動になると感じた。</p>
<p>9 来年度以降の実施予定</p>	<p>○来年度は2020東京オリンピック・パラリンピックが開催されるため、ゴールボールだけでなく様々なスポーツを紹介したり、体験したりすることで、更に東京オリンピック・パラリンピックへの興味が高まるようにしたい。</p>